

第3次安倍再改造内閣が発足して1カ月余り。兵庫県選出の国会議員では、副大臣3人、政務官1人が政権を支える。それぞれの課題と抱負を2回に分けて伝える。



### 国土交通兼内閣府兼復興副大臣 末松信介

―力を入れる点は。

「地域の安全安心の確保。阪神・淡路大震災後、どの自治体も『災害に強いまちづくり』は最優先施策になった。土砂・河川対策は自治体と連携し、堤防整備だけでなく、住民が主体的に避難するための情報配信を強化する。地震では住宅・建築物の耐震化を急ぐ」

「道路などの社会資本整備も重要。人口減少社会にあって、次世代の資産になる。兵庫では、大阪湾岸道路（阪神高速湾岸線）西伸部、北近畿豊岡・山陰近畿の両自動車

## 地域の安全安心確保

道、播磨臨海地域道路などの早期整備で、交流増や経済効果が望める。時間を要するからこそ、ここ1、2年の取り組みが大事だ」

―復興関連は。

「東日本大震災時、現地で子どもが安否確認に見入っていた姿が忘れられない。原発などの問題もあり、一概にこれで終わりなどとは言えない。高台移転や災害公営住宅の整備をはじめ、できることを進めたい」

―神戸空港はどうあるべきか。

「関西、大阪（伊丹）との3空港一体運用で生かすべきだ。来日観光客が増え、地方空港も国際化が必要になる。一体運用できれば、便数、発着時間などの制限も外しやすい。兵庫、神戸の財産だ」

（聞き手・佐伯竜一）